

日本農林漁業振興会会長賞・農林水産大臣賞

なかつがわく

中津川区公民館（鹿児島県さつま町）

地域住民による歴史ある伝統芸能の復活を契機に、
青年・女性等の組織活動や地域住民の交流が活性化。
若者のUターンも増え、地域を担う後継者を育成。

1. 地区の概要

中津川区は、鹿児島県の北西部、さつま町東部の5集落からなる水田地帯であり、かつてこの地域を治めていた島津金吾歳久公きんごとしひさを祀る大石神社に奉納する「金吾様踊り」を継承してきた地域である。

2. 団体の概要

5集落の公民会長と5つの専門部会で構成されており、住民総参加で策定した「地域づくり活性化計画」を基に、専門部会と青年・女性組織、農業者団体等とが連携して実践活動を行っている。

3. 団体の取り組み

- 平成15年、青壮年有志が「金吾様踊り活性化実行委員会」を設立。22年には「金吾様踊り」の演目「地割舞」を55年ぶりに復活させ、秋季大祭の観客数は15年当時の約100名から1400名に大幅に増加した。
- 「金吾様踊り」を継承するため、住民による手作り衣装の活用、名入れ幟の作成・販売、保育園児が植付・収穫したさつまいもの販売、オリジナル焼酎「金吾さあ」の商品化等財源確保の工夫をしている。
- 「なかっこ朝市」を拠点とした野菜等の直売・交流活動は、高齢者の収入確保のほか、住民が集うサロンの役割も果たしている。
- 青年組織は農作業支援、地域環境整備活動、女性組織は地域行事の企画運営への参画、農業技術・経営の研鑽に励むなどこれらの取組が若者のUターンや地域を担う後継者育成につながっている。



55年ぶりに復活した地割舞



住民総出で焼酎用いもを植付



地域を担う青年組織「吾友会」